

全身の浸出症状から職場復帰後に再燃し再休職した成人アトピーの経過 (31 歳 成人)

症例 ID：001-30-SM | 記録日：2015 年 6 月 2 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から肘や膝を中心にアトピーがあり、症状に応じてステロイド外用をしていました。社会人後、仕事上の負担とともに症状が悪化し、2014 年 4 月に心身の不調で休職しました。

ステロイド中止後に民間療法を試しましたが、全身の浸出液、創部、不眠が強くなり、その後に治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から症状に応じてステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から 2014 年頃まで断続的に使用しました。
中止時期	2014 年 4 月頃です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2014 年 4 月	休職・中止	仕事上の負担で症状が悪化し、休職してステロイドを中止しました。
その後	強い悪化	全身から浸出液が出て、正常な皮膚がほとんど見えない状態となりました。
2014 年頃	治療開始	煎じ薬、外用処置、毎日約 2 時間の漢方入浴を開始しました。
約 2 か月後	変化	浸出液が大きく減り、夜間に眠れるようになりました。
2014 年 10 月中旬	職場復帰	体力を戻しながら仕事へ復帰しました。
2015 年 5 月	再燃	発汗とともにかゆみが強くなり、仕事が困難となって再休職しました。
2015 年 6 月	記録時点	一部から浸出液が出て、手足を曲げにくい状態で治療を再開していました。

4. ピーク時期

ピークは、2014 年のステロイド中止後に全身から浸出液が出て、創部と強いかゆみで夜間に眠れず、ほぼ寝たきりとなった時期です。

5. 困りごと

- 浸出液で衣類が汚れ、夜間の睡眠が大きく妨げられました。
- 休職して治療に専念する必要がありました。
- 職場復帰後に再燃し、再び休職しました。

6. 経過のまとめ

治療開始約 2 か月後には浸出液が減り、2014 年 10 月には職場へ復帰しました。

2015 年 5 月に再燃して再休職し、記録時点では治療を再開している段階でした。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。